

PRESS RELEASE

2006年1月11日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、仮想広域イーサネットを利用してインプレスの社内ネットワークを安価で手軽に冗長化 L2TPv3 を応用し 10 分の 1 以下のコストで基幹レイヤ 2 ネットワークの冗長化を実現

株式会社インターネットイニシアティブ(以下 IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証マザーズ)は、株式会社インプレスホールディングス(以下 インプレス)の社内ネットワークにおいて、“広域イーサネットと仮想広域イーサネットによるレイヤ 2 ネットワークの冗長化”を実現しました。このネットワークは、IIJ の自社開発ルータ「SEIL」に実装された L2TPv3^{(*)1}と STP^{(*)2}機能を利用して実現したもので、2005 年 10 月から提供を開始しております。

インプレスでは、従来から広域イーサネットを利用した社内ネットワークを運用していましたが、基幹レイヤ 2 ネットワークが一面構成であるため、可用性に不安を抱えていました。また、AppleTalk などの非 IP プロトコルを利用しているため、安価なレイヤ 3 のネットワークサービスをバックアップ網として採用できないなど、冗長化にかかるコストの面でも課題を抱えていました。これらの問題を解決するために、IIJ は広域イーサネット網のバックアップとして、インターネット上にインプレス専用の仮想的なイーサネット網を構築しました。既存の広域イーサネット網およびインターネット回線を利用し、各拠点のルータを新たに「SEIL」に置き換えるだけで、より手軽に短期間で、レイヤ 2 ネットワークの冗長化を実現しました。

また同時に、フルメッシュ構成の拠点間レイヤ 3 VPN の運用が煩雑であることなど、可用性と運用負荷の面で様々な課題を抱えていましたが、各拠点に設置した「SEIL」はレイヤ 3 VPN 機器としても機能しており、1 台で複数の機能を提供することで運用を効率化しています。これにより、インプレスは社内ネットワークの可用性向上と、大幅な運用負荷軽減を実現しました。

「SEIL」はレンタルサービスとして提供しているため、単純に広域イーサネット網を二重化する場合と比較して、月額コストを約 10 分の 1 以下に抑える効果も出ています。

今回採用された「SEIL」はエンタープライズ向けの高機能ルータとして 2003 年に開発され、ファイアウォール、VPN、QoS などの汎用的な機能に加え、L2TPv3、Policy Routing、IPv6 などのハイエンド向けの機能を実装しており、高度かつ柔軟なネットワーク構築を可能にします。また、世界初のネットワーク・オペレーティングシステム「SMF」^{(*)3}に対応するなど、幅広い機能をご提供しております。

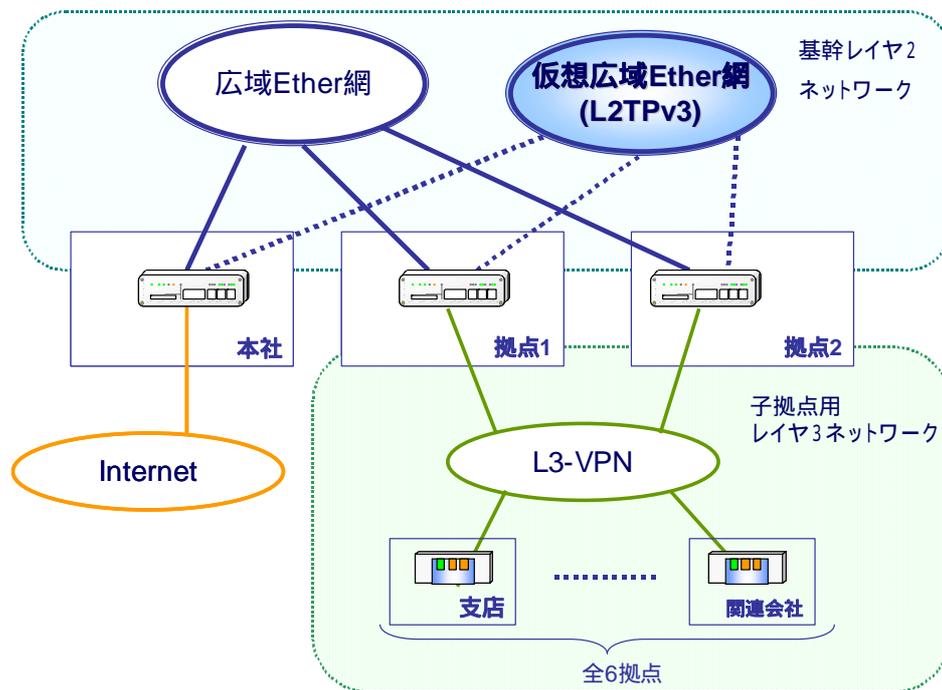
IIJ では、今後とも企業ネットワークの様々なご要望に応じた高品質で柔軟なネットワークの実現に努めてまいります。

(*)1 L2TPv3(Layer 2 Tunneling Protocol version3/RFC3931 準拠): インターネットなどの公衆回線網上に仮想的にトンネルを生成し、VPN を構築するためのプロトコル。レイヤ 2 のフレームを IP ネットワーク上でトンネル化することを可能にする。

(*)2 STP(Spanning Tree Protocol/IEEE802.1d 準拠): レイヤ 2 ネットワークを冗長化するためのプロトコルの一つ。

(*)3 SMF(SEIL Management Framework): IIJ 独自開発の集中管理型ネットワークマネジメントシステム。ネットワークの接続設定から運用、保守までの一元管理を可能にする。特許出願中(特願 2002-359720)

【提供イメージ図】



報道関係お問い合わせ先
株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 富永、手島
TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311
E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>